
第 4 編

地区別構想
(5小学校区)

1. 地区別構想とは

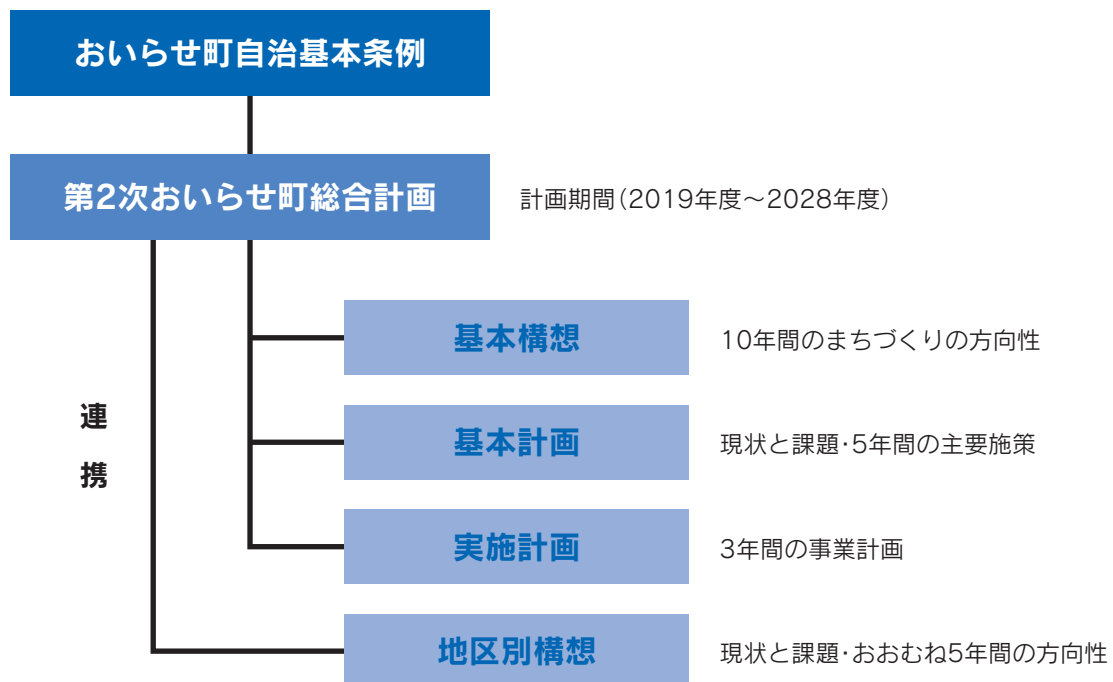
(1) 地区別構想の趣旨と位置づけ

平成18年(2006年)3月に百石町と下田町が合併した以降、当町のまちづくりをどのように進めていくかという方向性を示すものとして平成20年(2008年)3月に「おいらせ町自治基本条例」が制定されました。これは「地域のことは地域が主体となって考え、行動する」という自治の原点に立ち、町民・議会・行政がともに手を取り合って今後の課題に取り組んでいくという意思表示です。

しかし、行政主導で施策を決めるという旧来型の行政運営から住民が「自分のまち」について考え、まちづくりに主体的に関わる手法への移行は容易ではありません。

そのため、第2次おいらせ町総合計画では、自治基本条例で目指すまちづくりの姿を具現化する一つの方策として、地区住民それぞれが自分たちの住む地区のことを見つめ直し、これからどのようにしていきたいかを考え、行動に移すきっかけとするため、地域の課題や目指す姿を掲げた地区別構想を策定し、総合計画に位置付けました。

地区別構想は、第2次総合計画に連なる計画として位置づけ、計画期間を以下のように定めます。



(2) 地区別構想の役割

地区別構想は町内の5つの小学校区毎に策定しているが、特徴や課題は各地区で異なります。各地区の特徴を活かし、異なる課題に対応していくために、何を優先して課題解決していくべきかを、住民自らが考え、行動に移していくための指針としての役割を有します。

地区別構想の策定は町にとって初めての取り組みです。この地区別構想を基に、住民一人ひとりが「自分のまち」について考え、小さな気づきから取り組みを実行に移し、積み重ねていくことが、「協働のまち おいらせ町」への大きな一歩とするために策定するものです。

今回の地区別構想では、事業をいつ、どのように、誰がやるのか、目標はどうするのかといった具体的なところまで記載できていませんが、今後の地区ごとの活動を方向付ける資料として活用され、行動計画としての役割を果たすことを目指すとともに期待しています。

(3) 地区別構想の策定経緯

地区別構想は、中学校区毎の3会場で各3回にわたる住民懇談会によって検討・協議し、策定しました。

時 期	回 次	内 容
平成30年 1月23～25日	第1回 住民懇談会	テーマ:自分の地域について考えよう 地域の魅力と課題を洗い出そう
5月15～17日	第2回 住民懇談会	テーマ:地域の魅力と課題をまとめて 方向性を考えよう 「わたし」、「地域」、「行政」の すべきこと、目指すこと
7月11～13日	第3回 住民懇談会	テーマ:地域づくりの方向性をまとめよう
11月12～15日	第4回 住民懇談会	基本構想・地区別構想について意見交換
平成31年 2月4日～6日	第5回 住民懇談会	第2次総合計画前期基本計画について意見交換

【実施方法】

- 小学校区毎の5人程度のグループに分かれて意見交換を行いました。
- 1回あたりの会議時間を2時間とし、①概要説明、②意見交換、③発表(共有)の流れで行いました。
- 小学校区毎に住民から出た意見を「①主な課題」と「②地域の課題を解決するための取り組み(自助・共助)」として主な内容をまとめました。なお、行政にしてほしい部分(公助)については、全体計画への反映を検討しました。

地区別住民懇談会の様子

みなくる館(百石小・甲洋小学校区)



中央公民館(下田小・木内々小学校区)

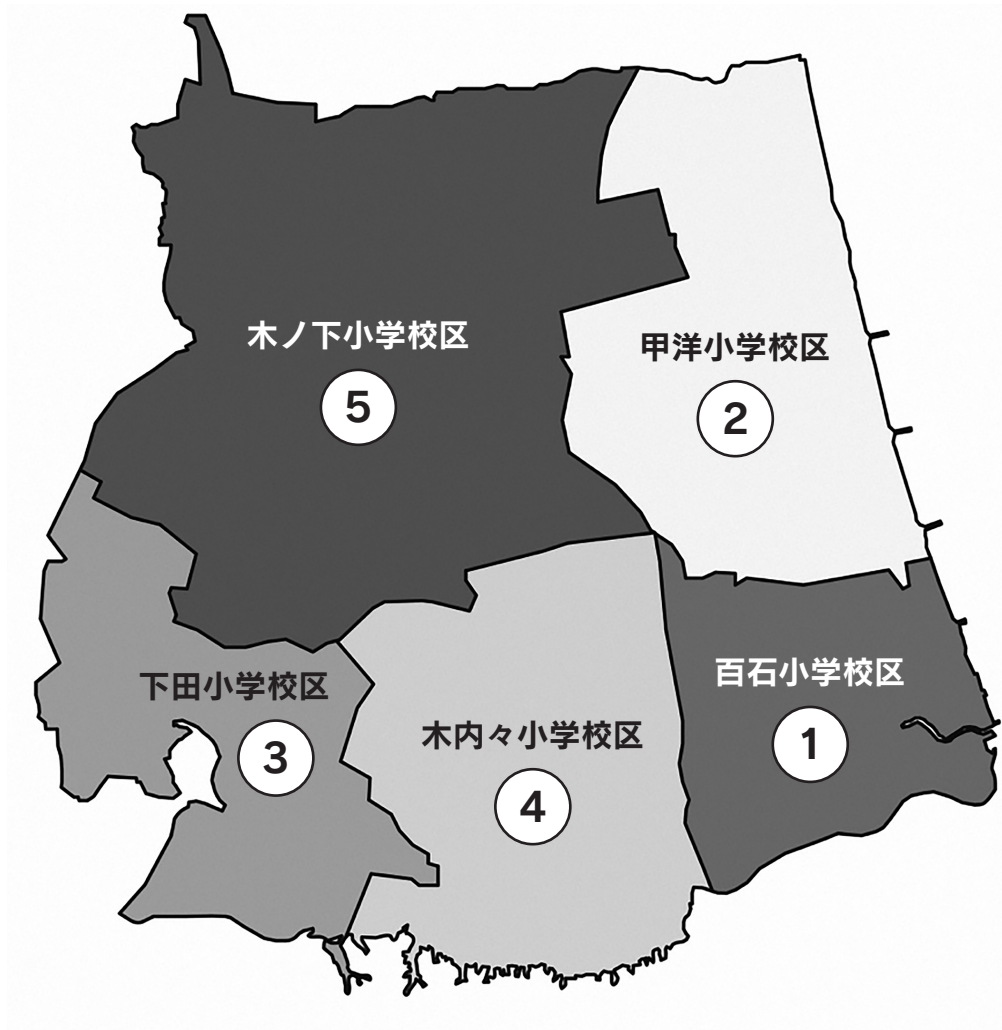


北公民館(木ノ下小学校区)



(4) 地区別構想の策定単位

地区別構想は、各種活動をするにあたり、必要な組織や人数が適度に揃う範囲であり、日頃からの関わりやつながりを考慮し、5つの小学校区ごとに策定しています。



No.	小学校区	行政区
1	百石小学校区	苗振谷地、向坂、一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、五丁目、六丁目、八幡町、中央町、上新町、大工町、新町、七軒町、下前田、藤ヶ森、川口、明神下、横道、日ヶ久保、洋光台、のぞみ団地、根岸、黒坂、肴町、堀切川
2	甲洋小学校区	深沢、一川目、二川目
3	下田小学校区	本村、鍋久保、洗平、新敷、阿光坊、錦ヶ丘
4	木内々小学校区	三本木、三田、木内々、間木、染屋、木崎、秋堂、中野平、曙、有楽町
5	木ノ下小学校区	木ノ下、鶉久保、向山、豊原、豊栄、苫米地、住吉町、若葉、青葉、緑ヶ丘

2. 地区別構想

(1) 百石小学校区

① 地域の概況

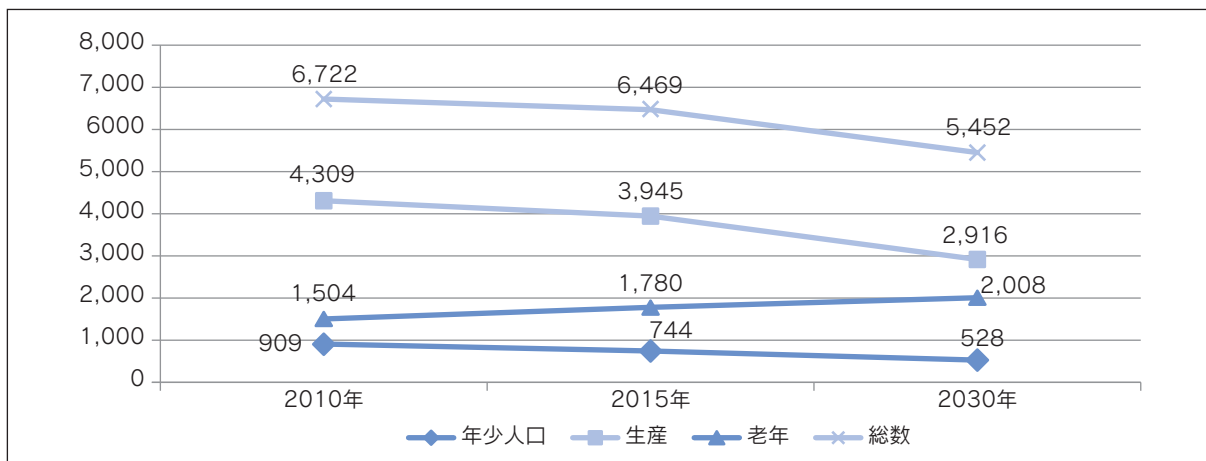
町の南東に位置する百石小学校区は、八戸市と隣接し、奥入瀬川、明神川の河口を有しており、河口付近に百石漁港、その北部に百石工業団地があります。河口から西に進むと、古くからの住宅と農用地が混在した地域があります。

国道45号沿いには古くから商店街が形成されており、毎年9月中旬においらせ百石まつりが開催されています。地区の南側には国民健康保険おいらせ病院、分庁舎や金融機関、百年以上の歴史を持つ酒造工場があり、地区の北側にはいちょう公園とそこに接するように洋光台団地が整備されています。地区内には「百石えんぶり」、「日ヶ久保の虎舞」、「大権現」などの郷土芸能があり、それらを伝えていく取り組みも続けられています。

2011年の東日本大震災では、河口近くの集落や工業団地が津波に襲われ、家屋や車、船が流されるなどの被害が出ましたが、現在はほぼ復興を果たしています。

◆人口推移及び推計と高齢化率

百石小学校区の人口は6,722人から6,469人と2010年(平成22年)から2015年(平成27年)の5年間で253人減少しました。今後もこの傾向が続くと、2030年(平成42年)には人口が5,452人(15年間で1,017人、1年間で約68人の減)にまで減少することが予測されます。また、少子高齢化も進んでおり、2015年(平成27年)に27.5%の高齢化率が2030年(平成42年)には、36.8%になる見通しです。



年齢区分	年	2010年	2015年	2030年	増減数 (2010⇒2030)	増減率 (2010⇒2030)
年少人口(～14)		13.5%	11.5%	9.7%	-381	-3.8%
生産年齢人口(15～64)		64.1%	61.0%	53.5%	-1,393	-10.6%
老年人口(65～)		22.4%	27.5%	36.8%	+504	+14.4%

② 地域の主な公共的施設(百石小)



百石小学校区	
庁舎・公民館等	① おいらせ町役場分庁舎
	② 東公民館
	③ みなくろ館・図書館
	④ 大山将棋記念館
	⑤ 観光 PR センター 味祭館
	⑥ いちよう公園
	⑦ 中央公園
	⑧ 東児童公園
	⑨ 明神山公園
	⑩ 洋光台南公園
	⑪ 川口河川広場
学校・児童館・保育園等	⑫ 百石小学校
	⑬ 百石中学校
	⑭ 百石高等学校
	⑮ あゆみ保育園
	⑯ 川口保育園
	⑰ 百石幼稚園
	⑱ あゆみ児童クラブ (あゆみ保育園)
	⑲ 国民健康保険おいらせ病院
医療・保健・福祉施設等	⑲ 国民健康保険おいらせ病院
	⑳ 医療法人正恵会 石田温泉病院
	㉑ 三上医院
	㉒ 木村歯科医院
	㉓ 昆歯科医院
	㉔ スマイル歯科

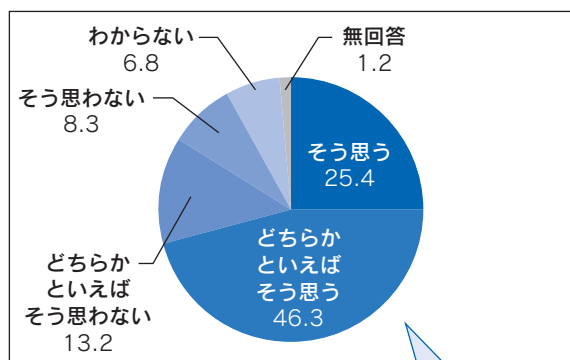
百石小学校区	
医療・保健・福祉施設等	㉕ 地域福祉センターいきいき館
	㉖ 福祉プラザのびのび館
	㉗ 特別養護老人ホーム百石荘
	㉘ グループホームたんぼぼ
	㉙ グループホームあゆみの里
町内会集会施設等	㉚ 藤ヶ森地区生活会館
	㉛ 洋光台地区コミュニティセンター
	㉜ 堀切川地区コミュニティセンター
	㉝ 川口地区コミュニティセンター
	㉞ 明神山コミュニティ防災センター
	㉟ 本町地区コミュニティ消防センター
	㊱ 横道生活館
	㊲ 新町集会所
	㊳ 大工町集会所
	㊴ 七軒町集会所
	㊵ 上新町集会所
	㊶ 根岸いちよう会館
	㊷ 黒坂集会所
	㊸ 苗振谷地生活会館
	㊹ 向坂集会所
金融機関等	㊺ 本町地区北コミュニティセンター
	㊻ 百石郵便局
	㊼ 青い森信用金庫 おいらせ町役場分庁舎派出所
	㊽ 青森県信用組合 百石支店
	㊾ 青森銀行 百石支店
	㊿ JA 十和田おいらせ 百石支店

③ 地域住民の意向(百石小)

◆ アンケート調査

町民意識調査(N=205)

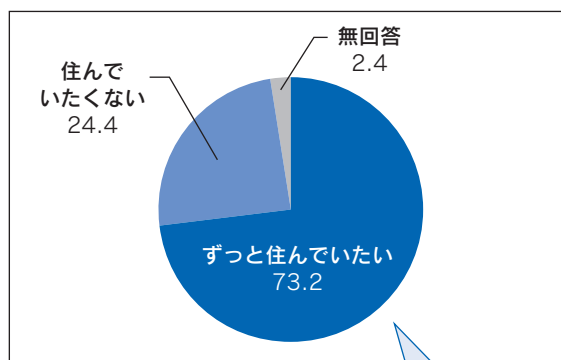
Q. おいらせ町には、長く住み続けられる魅力があると思いますか。



73.7%が魅力があると回答！
【町全体:68.9%】

小学生まちづくりアンケート(N=41)

Q. 大人になってもおいらせ町にずっと住んでいたいと思いますか。



73.2%が住み続けたいと回答！
【町平均:65.3%】



根岸の大いちょう



おいらせ病院



百石えんぶり



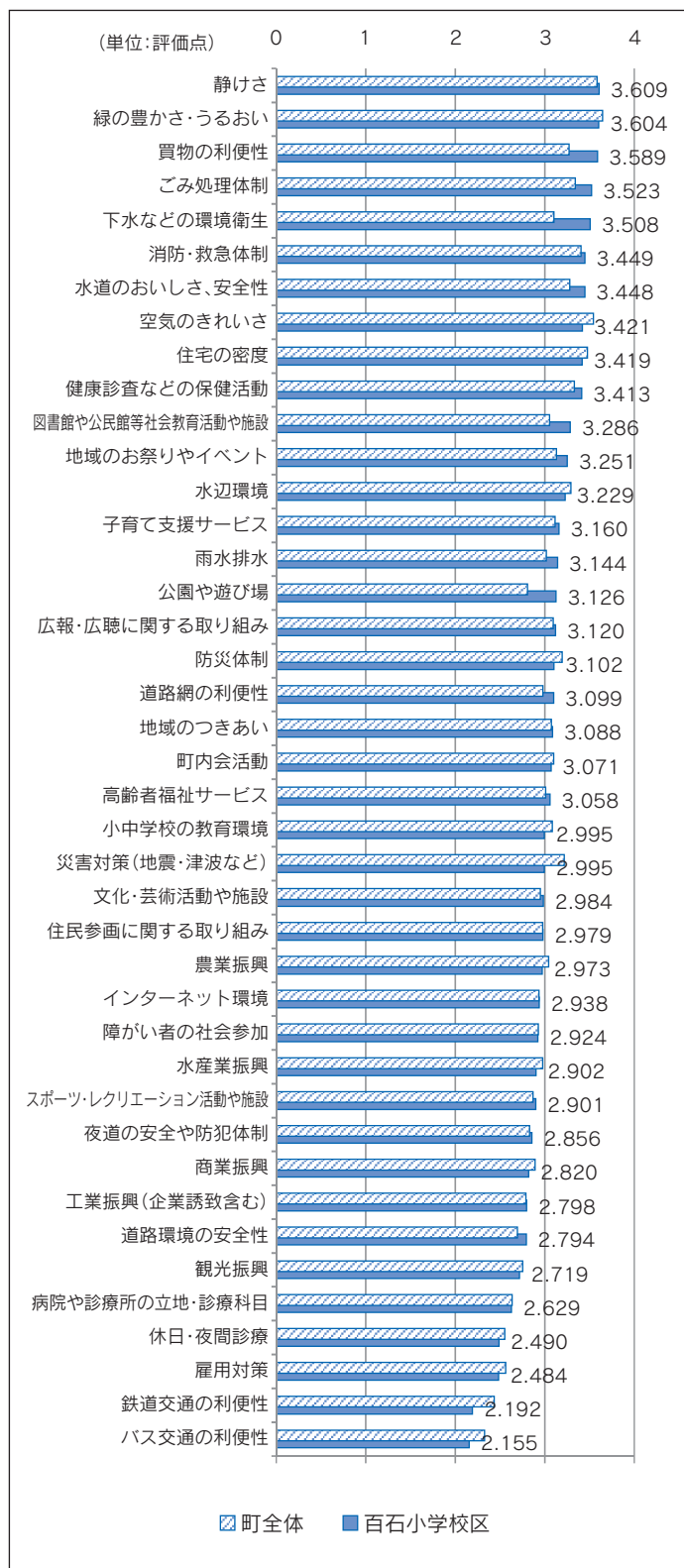
百石工業団地



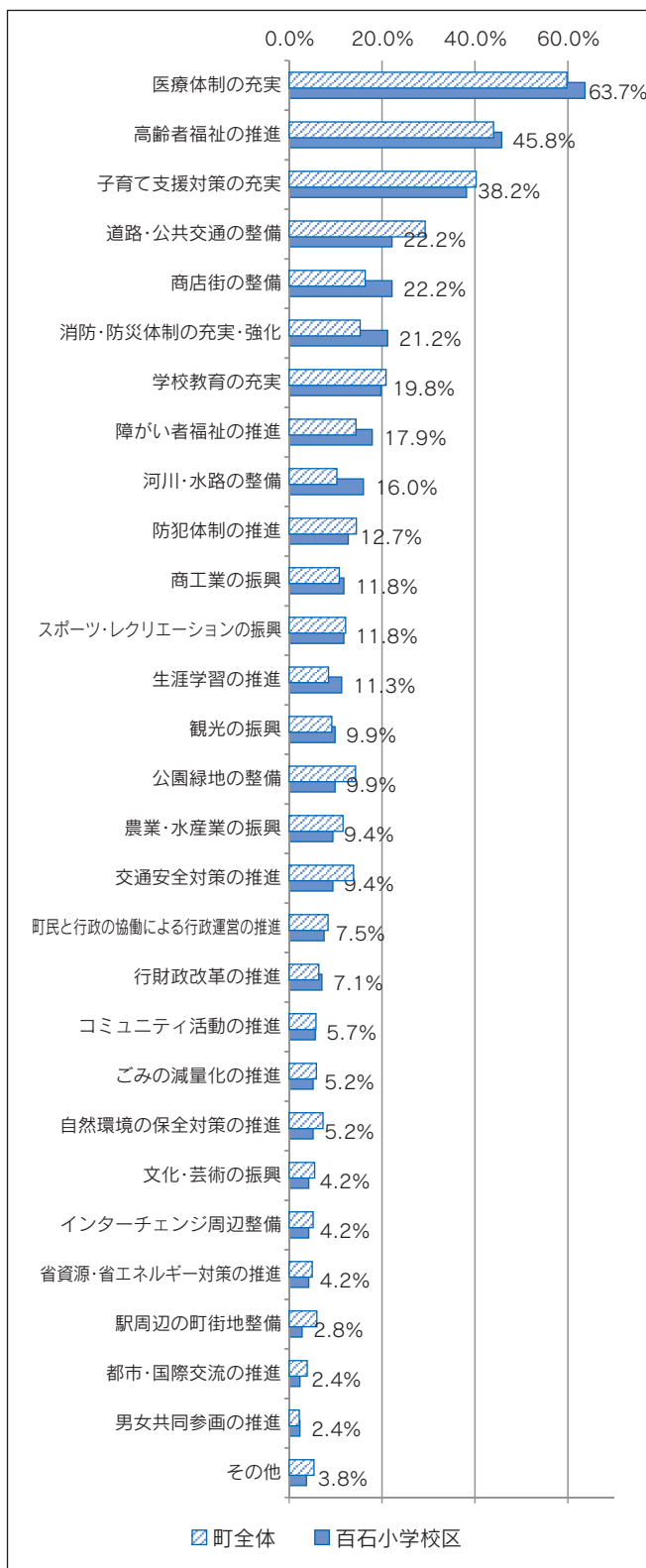
自由の女神・いちょう公園

《百石小学校区》

「住まいの環境」の満足度



まちづくりの課題



町の各環境について、どの程度満足しているのかを把握するため、町民意識調査を実施し、41項目ごとに「満足」、「やや満足」、「普通」、「やや不満」、「不満」の5段階で評価してもらいました。満足度が低い3項目は、「雇用対策」、「鉄道交通の利便性」、「バス交通の利便性」でした。

④ 地域の課題と地域の方向性(百石小)

地区別懇談会のワークショップで話し合った意見をもとに、百石小学校区の①主な課題と②地域の課題を解決するための自助・共助の取り組みを4つのテーマで整理・集約しました。

◆ ①主な課題

	主な課題	
(1)暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設等が不足している ・ 公共交通が不便 ・ 道路の整備と管理が不十分 ・ 各種産業の振興 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 未利用地の増加 ・ 実効性のある健康づくりの取り組みが必要（健診受診率が低い）
(2)安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災に対する普段の備えと自主防災組織の維持 	
(3)つながり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの減少 ・ 高齢者の増加 ・ 地域の担い手が不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の交流が薄れている ・ 祭りの継続が難しくなっている
(4)その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町情報の周知不足 ・ 独身者が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住みよい町だがこれが一番という売りがない

◆ ②地域の課題を解決するための取り組み(自助・共助)

	主な取り組み	
(1)暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設は増やさない ・ 施設の集約や共同利用を検討 ・ 公共交通の積極的利用 ・ 町民バスに限らない新しい制度、仕組みを調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乗り合いを進める ・ 健康づくりの推進 ・ いきいきサロンや敬老会を利用した啓発活動（広域開催も検討） ・ 地域づくり協議会の設置を検討
(2)安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難を皆で呼びかける 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災訓練に参加する
(3)つながり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域活動・交流の活性化 ・ Uターン環境の醸成 ・ すべての無駄遣いをやめる（例：町内会経費） ・ 若い人をはじめ地域活動への参加者が増えるよう個人声かけ作戦 ・ 若い人たちが集まれるような趣味、サークルをつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内会で助け合う ・ 東公民館でダンスパーティーを開催、定期的なパーティーでふれ合いの場をつくる ・ 町内会合同での祭り参加を協議 ・ 町内会合同での敬老会、盆踊り、花見、防犯活動、運動会などの開催を検討
(4)その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ おいらせ愛をはぐくむ ・ 公園等の魅力を伝える手段を提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明日、幸せに暮らすことを意識する

(2) 甲洋小学校区

① 地域の概況

町の北東に位置する甲洋小学校区は、北は三沢市と隣接し、県道19号と国道338号が海岸部を南北に走り、隣接市とのアクセスが良好な地域です。

この地域はローム質火山灰土が大部分を占める農業生産性の高い地域であり、野菜栽培を中心とした農業が多く行われています。また、漁業も盛んで、主に北寄貝、鮭、ヒラメなどが獲れます。

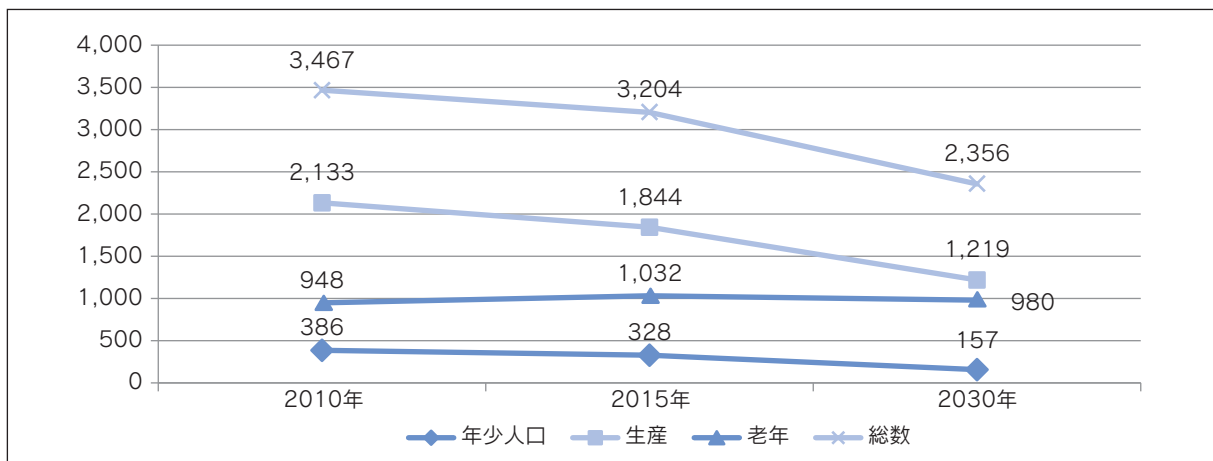
2011年の東日本大震災時には海岸部を津波が襲い、人的被害はありませんでしたが、家屋や家畜が流されるなど大きな被害が出ました。

当地区には大きな公共施設はありませんが、漁業協同組合や農業協同組合などの施設や郵便局などがあり、地域住民に利用されています。

当地区は、土地利用規制により容易に開発できないこともあり人口が急激に減少しており、今後も減少することが予測され、地域を支えるコミュニティ運営への支障が懸念されます。町では人口定住策を推進し、人口減少対策の取り組みを実施しています。

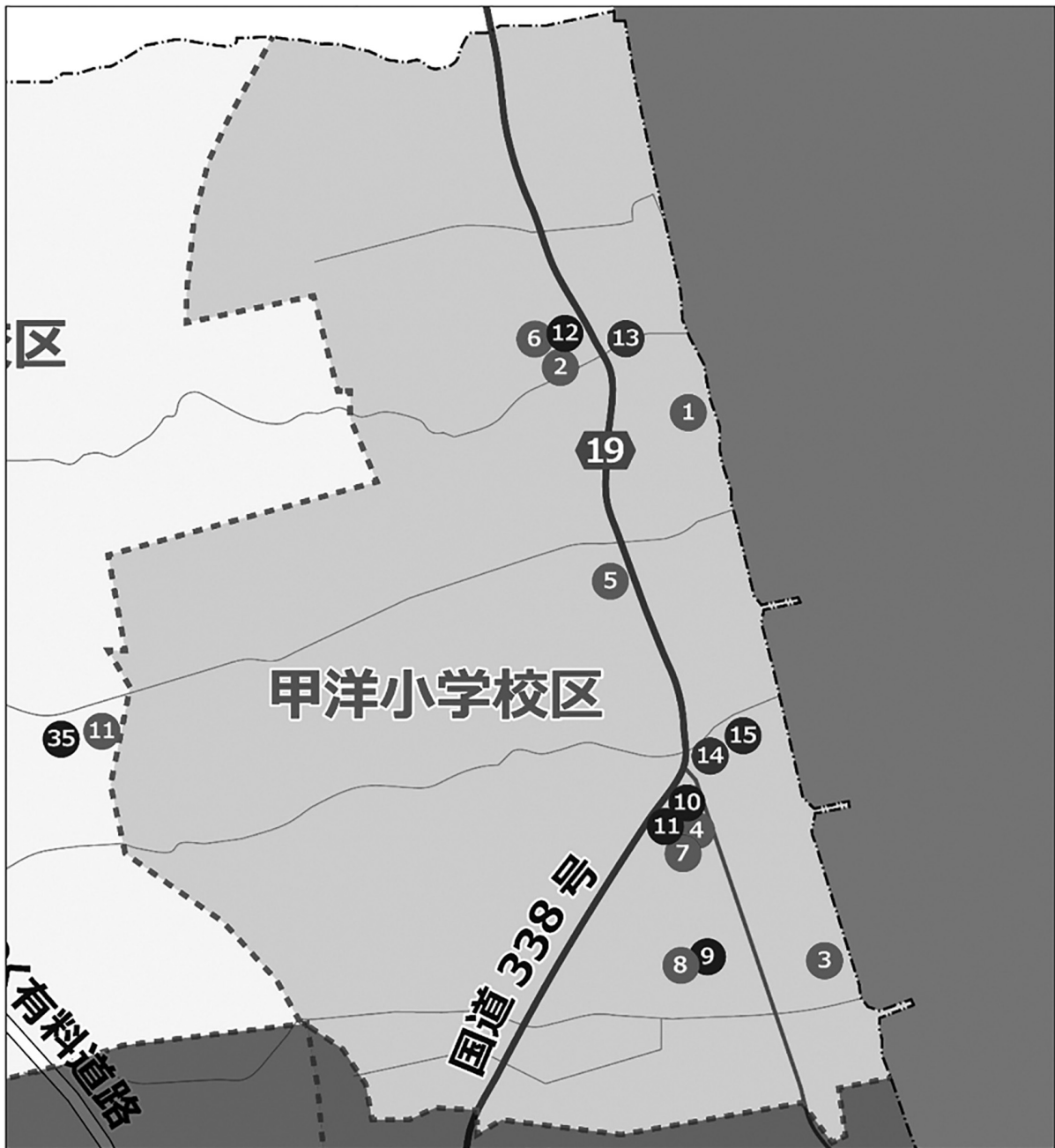
◆人口推移及び推計と高齢化率

甲洋小学校区の人口は3,467人から3,204人と、2010年(平成22年)から2015年(平成27年)の5年間で263人減少しました。今後もこの傾向が続くと、2030年(平成42年)には2,356人(15年間で848人、1年間で約57人の減)にまで減少することが予測されます。また、少子高齢化も進んでおり、2030年(平成42年)の高齢化率は41.6%になる見通しです。



年齢3区分	年			増減数 (2010⇒2030)	増減率 (2010⇒2030)
	2010年	2015年	2030年		
年少人口(～14)	11.1%	10.2%	6.7%	-229	-4.4%
生産年齢人口(15～64)	61.5%	57.6%	51.7%	-914	-9.8%
老年人口(65～)	27.4%	32.2%	41.6%	+32	+14.2%

② 地域の主な公共的施設(甲洋小)



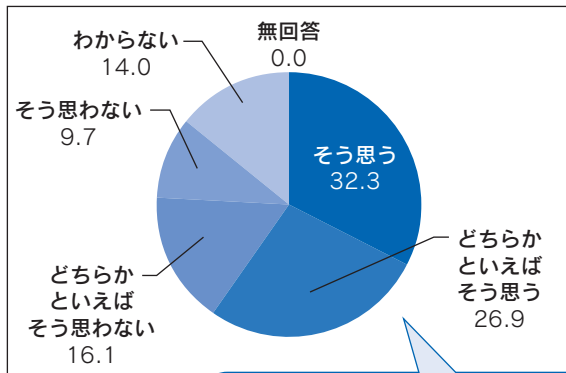
甲洋小学校区	
庁舎・公民館等	① 海浜公園
	② 二川目児童公園
	③ 深沢公園
学校・児童館・保育園等	④ 一川目児童公園
	⑤ 甲洋小学校
	⑥ 二川目保育園
	⑦ 一川目保育園
町内会集会施設等	⑧ 深沢保育園
	⑨ 深沢地区コミュニティセンター
	⑩ 一川目地区生活会館
	⑪ 一川目コミュニティホール
金融機関等	⑫ 二川目地区生活会館
	⑬ 二川目郵便局
公共的団体	⑭ 一川目簡易郵便局
	⑮ 百石町漁業協同組合

③ 地域住民の意向(甲洋小)

◆ アンケート調査

町民意識調査(N=93)

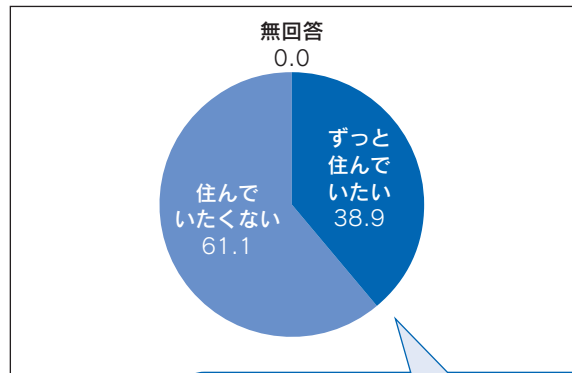
Q. おいらせ町には、長く住み続けられる魅力があると思いますか。



61.9%が魅力があると回答！
【町全体:68.9%】

小学生まちづくりアンケート(N=18)

Q. 大人になってもおいらせ町にずっと住んでいたいと思いますか。



38.9%が住み続けたいと回答
【町平均:65.3%】



海浜公園



園児による大根掘り



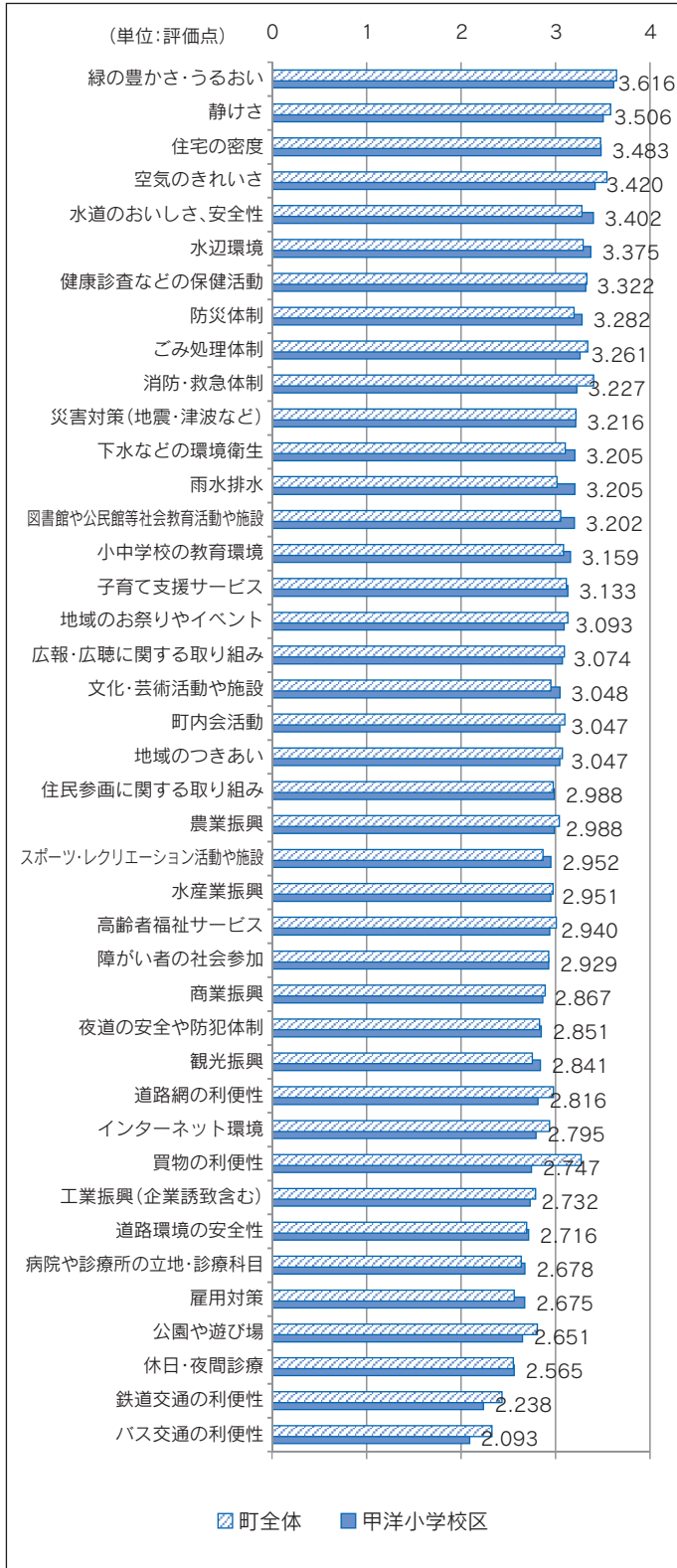
一川目海岸のサーファー



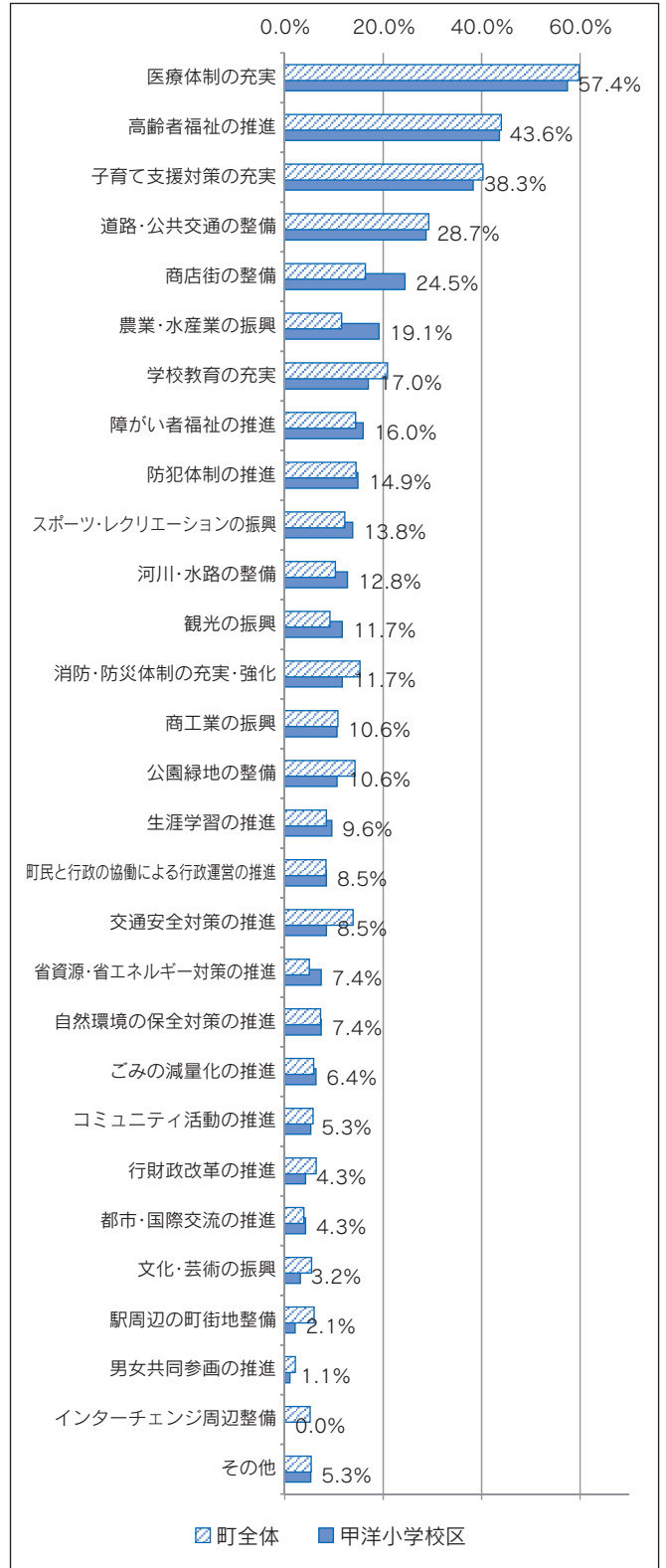
地引網体験

《甲洋小学校区》

「住まいの環境」の満足度



まちづくりの課題



各環境について、どの程度満足しているのかを把握するため、町民意識調査を実施し、41項目ごとに「満足」、「やや満足」、「普通」、「やや不満」、「不満」の5段階で評価してもらいました。満足度が低い3項目は、「休日・夜間診療」、「鉄道交通の利便性」、「バス交通の利便性」でした。

④ 地域の課題と地域の方向性(甲洋小)

地区別懇談会のワークショップで話し合った意見をもとに、甲洋小学校区の①主な課題と②地域の課題を解決するための自助・共助の取り組みを4つのテーマで整理・集約しました。

◆ ①主な課題

	主な課題
(1)暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・生活環境の悪化（土埃、砂浜のごみ、堆肥の臭い、田畑の荒廃等） ・生活機能の縮小（病院、診療科目が少ない、地元の商店の減少等） ・不便な交通体系 ・空き家の増加 ・働く場所が少ない
(2)安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全への不安（歩道が少ない、幹線道路の交通量の多さ等）
(3)つながり	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少などにより地域の交流が薄れている ・地域のリーダーがいなくなっている
(4)その他	—

◆ ②地域の課題を解決するための取り組み(自助・共助)

	主な取り組み
(1)暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な公共交通の利用（のりあい、バスにみんなで乗る、運行管理を住民（運転手）と業者（管理）で行うことを検討） ・町内でのゴミ拾い
(2)安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道の枝払いや除雪の対応を検討（町内会や消防団での枝払いを継続）
(3)つながり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流の推進（交流の場をつくることを考える、老人向けスマホ教室（連絡手段）やお化粧教室（若返り講座）の開催を検討する、若いおじいちゃんおばあちゃんに講師をお願いする）
(4)その他	—